

分科会・ハーモニカクラブが介護施設で慰問演奏活動！

2月27日（火）恒例の隔月開催の（老人ホーム）二階堂デイサービスでの慰問演奏取材しました。

当日は大村分科会幹事以下寺澤、水越、奈良、桑井の5名全員が参加し、入居者23名が集まった中で30分間で6曲の演奏に合わせて皆さんに得意の大声で青春の歌を楽しんで貰いました。

挨拶から始まり、曲目は**先ず早春賦**。最初ハーモニカに聞き惚れて歌うのを忘れ～大笑い！2回目は大きな美声で見事な合唱でした。

次いで、春よ来い！其処まで来ているぞ～と。浜辺の歌、いつでも夢を、坂本九の明日があるさ。これは新趣向で持参のスマホと携帯スピーカーを駆使してバックグラウンドミュージックも流しながら～てな具合でした。

最後には、いつまでも絶えることなく、と4月の次回を約束して締めました。流石に手慣れたもので感心。

皆、ゆったりした旋律の綺麗な歌で解説にも聴き入っていました。小生も昨年101才で同様の施設で亡くなった母親を思い出す一コマでした。終了後、お茶を戴きながら施設の方と歓談。「お耳の遠い方は大勢いますか？」と聞いたら「殆どが遠いです」と（笑）次回、NPO 横浜発明振興会の発明作品「ケアホン」をお持ちしてみます、と約束しました。



ハーモニカ熱演に合わせる皆さま



職員の方も一緒にお手伝い

（写真：桑井、記事：御法川）